

眞心の業務を
眞格眞要眞能化

行政と連携の強化を実現

福井県コンクリート
診断士会（石川裕夏会
長）は、コンクリート
診断士の社会的評価。
・

リート診断技術の普及に努めている。その特色としては、診断士会が持つ技術力、人材を活かして福井県および各市町村への技術支援・協働事業を実施することとで行政とのネットワークを構築し、コンクリート診断士の存在価値を高めているところにある。

木構造物での火灾による被害（火害）が生じた場合の交通規制措置などの判断基準や対応手順などについて、県の担当職員が適切な対応を取れるようになります。そのほかに、福井県橋梁長寿命化計画策定委員会への参画や職員向け研修会への講師派遣なども行い、行政との連携を深めてい

後対応マニユアル」の技術監修を行つた。トンネルや橋梁などの木構造物での火災による被害（火害）が生じる易舎の交通事故見判皆

修繕計画策定業務や橋梁調査業務、トンネル打音検査業務などについてはコンクリート診断士資格が要件化されている。

石川会長は一橋梁寿
命化計画策定委員会
への参画や県職員への
講習会に協力するなげ
の取組みを通じて、当
会の活動を知つてもら
えたことが診断士資格
の要件化につながつ
た」と話す。

また、福井県は同県診断士会に正会員として

その成果として、福井県では橋梁長寿命化

て加盟している。福井県建設技術公社ではコンクリート診断士の登

件化で実現

同県診断士会は11月で設立10周年を迎える。11月22日に福井市内で設立10周年記念講演会を開催する。そのほかの今年度の事業としては、賛助法人が保有する先端技術に関する研修会や現場見学会のほか、会員によるコンクリート診断事例を発表する技術交流会などを開催する予定だ。これらの活動を通じて、地域を支えるコンクリート診断士の継続教育を図るとともに、地域のコンクリート構造物の現状や維持管理の重要性を広く啓蒙していく。